



ありがとうございます
安心と信頼の
 朝日工業グループです



朝日工業株式会社

証券コード 5456

単元株 1株

ジャスダック市場

社長 赤松清茂
 本社 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 49階
 資本金 2,190百万円
 創立 1935年(S10年)8月16日
 従業員 421名(グループ560名)
 事業所 埼玉事業所、埼玉工場、関東工場(埼玉)、千葉工場、
 大阪事業所、関西工場(滋賀)

2010年11月12日(金)

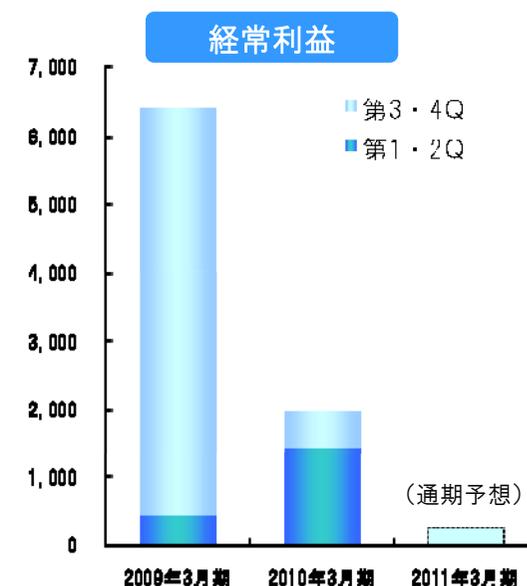
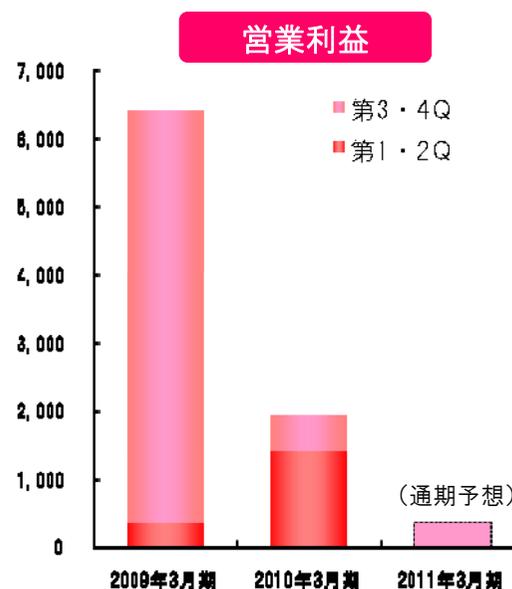
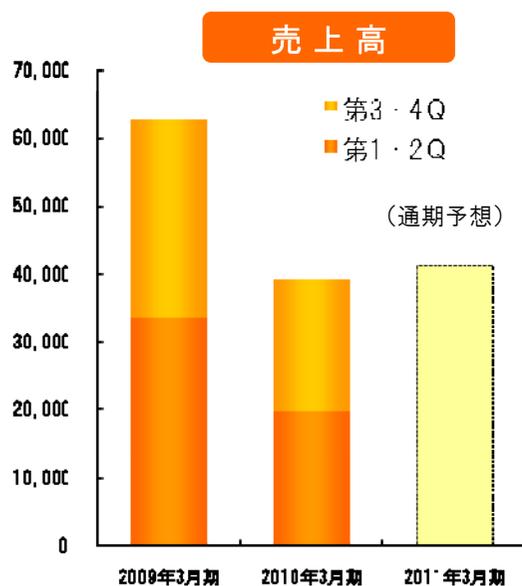
1. 2011年3月期 第2四半期連結累計期間実績および2011年3月期予想

	2009年3月期			2010年3月期			2011年3月期		
	第1・2Q計実績	第3・4Q計実績	通期実績	第1・2Q計実績	第3・4Q計実績	通期実績	第1・2Q計実績	第3・4Q計予想	通期予想
売上高 (百万円)	33,222	29,407	62,629	19,591	19,551	39,143	19,873	—	(41,000)
営業利益 (百万円)	342	6,064	6,406	1,399	523	1,922	△ 544	—	(350)
経常利益 (百万円)	407	6,001	6,408	1,426	538	1,964	△ 558	—	(240)
当期純利益 (百万円)	102	3,397	3,499	812	125	937	△ 577	—	(△50)
配当金 (円)	2,500	4,500	7,000	3,000	4,500	7,500	3,000	4,000	7,000
売上高営業利益率 (%)	1.0	20.6	10.2	7.1	2.7	4.9	-	—	(0.9)
売上高経常利益率 (%)	1.2	20.4	10.2	7.3	2.8	5.0	-	—	(0.6)

参考

売上高営業利益率上場後平均：9.4%
 売上高経常利益率上場後平均：9.2%
 (2006年3月期～2010年3月期平均)

※通期予想：2010年8月10日発表



2. セグメント別業績

〔百万円〕

	2009年3月期			2010年3月期			2011年3月期			
	第1・2Q計 実績	第3・4Q計 実績	通期実績	第1・2Q計 実績	第3・4Q計 実績	通期実績	第1・2Q計 実績	第3・4Q計 予想	通期予想	
売上高	鉄鋼建設資材事業	24,179	19,001	43,180	12,490	10,889	23,379	13,116	—	(25,000)
	農業資材事業	7,807	8,783	16,590	5,856	7,159	13,016	5,535	—	(13,300)
	環境ソリューション事業	362	602	965	364	467	831	335	—	(900)
	砕石砕砂事業	714	904	1,618	761	899	1,661	759	—	(1,500)
	その他	943	820	1,763	615	648	1,264	347	—	(690)
	調整額	△ 785	△ 704	△ 1,489	△ 497	△ 512	△ 1,009	△ 219	—	(△390)
	計	33,222	29,407	62,629	19,591	19,551	39,143	19,873	—	(41,000)
営業利益 (セグメント利益)	鉄鋼建設資材事業	454	5,622	6,076	1,948	376	2,324	△ 182	—	(20)
	農業資材事業	395	860	1,256	53	555	608	242	—	(730)
	環境ソリューション事業	△ 76	96	20	△ 86	24	△ 61	△ 96	—	(10)
	砕石砕砂事業	30	70	101	58	48	107	12	—	(80)
	その他	33	30	63	10	15	25	3	—	(10)
	調整額	△ 494	△ 616	△ 1,111	△ 584	△ 497	△ 1,081	△ 523	—	(△500)
	計	342	6,064	6,406	1,399	523	1,922	△ 545	—	(350)

3. セグメント別売上高営業利益率の推移

〔%〕

	2009年3月期			2010年3月期			2011年3月期		
	第1・2Q計 実績	第3・4Q計 実績	通期実績	第1・2Q計 実績	第3・4Q計 実績	通期実績	第1・2Q計 実績	第3・4Q計 予想	通期予想
鉄鋼建設資材事業	1.9	29.6	14.1	15.6	3.5	9.9	-	—	(0.1)
農業資材事業	5.1	9.8	7.6	0.9	7.8	4.7	4.4	—	(0.5)
グループ計	1.0	20.6	10.2	7.1	2.7	4.9	-	—	(0.9)

参考

上場後平均

鉄鋼建設資材事業	14.6
農業資材事業	4.6
グループ計	9.4

(2006年3月期～2010年3月期)

6. セグメント別業績および計画

		2011年3月期第2四半期累計期間業績	2011年3月期第3・4四半期計画
鉄鋼建設資材		<p>地道な営業活動の結果、ねじ鉄筋・構造用鋼の販売数量は前年同期を上回り、増収。しかし、鉄スクラップが高値で推移し、製品価格の値上げで吸収できず、減益。 (前年同期比 5.0%増収、セグメント損失182百万円)</p> <p>要因 ・ 販売数量増 (8.6%) ・ 販売単価減 (△4.9%) ・ メタルスプレッド縮小 (△30.0%)</p>	<p>〔販売〕 引き続ききめ細かな営業を展開し、「ねじ鉄筋」をはじめ、全ての鋼種で前年を上回る数量を確保。 〔コストダウン〕 製造工程やエネルギー効率改善、原料購買。 〔環境〕 天然ガス化によりCO₂排出量大幅削減。 ゼロ番スタンドの設備投資完了(低温圧延対応)。</p>
農業資材	肥料	<p>有機肥料の拡販に努めるも、販売単価低下により減収。しかし、主力である有機肥料の出荷堅調であったことから、増益。(前年同期比 6.3%減収、312%増益)</p> <p>要因 ・ 販売数量増 (7.3%) ・ 販売単価減 (△10.7%)</p> <p style="text-align: center;">【売上高 36億円】</p>	<p>〔販売〕 食の安心・安全に寄与する高付加価値有機肥料。 〔原料開発〕 良質で安価な有機原料の安定確保 未利用資源の探索により独自原料を開発。 〔環境〕 化成工場の天然ガス化によりCO₂排出量削減。</p>
	園芸	<p>春先の低温と猛暑の影響を受け、減収。しかし、ホームセンターでのプライベートブランド商品の採用などにより利益は前年並みを確保。</p>	<p>安心・安全な栽培に欠かせない有機肥料の販売拡大。 製造・物流の拠点構築により、販売エリア拡大。</p>
	種苗	<p>病気に強い大玉トマト「アニモ」が主要産地で拡大。さらにハウレンソウの販売増加により収益改善。</p>	<p>「アニモ」の更なる販売拡大。 病気に強い野菜品種の開発展開。</p>
環境ソリューション		<p>分析検体数は拡大したものの、官需物件の競争激化により減収減益。</p>	<p>民間物件受注を積極展開(メディアへ広告掲載予定)。 新規分野への進出による事業拡大を検討。</p>
碎石砕砂		<p>生コンメーカーへの拡販を図るも、昨年来の大型物件の完了により、減収減益。</p>	<p>単砕・砕砂の増産、販売拡大。</p>
新規事業		<p>25年後の朝日工業グループ創立100周年に向け、若手を中心とした新規事業プロジェクト「プロジェクト100」を発足しました。プロジェクトで生まれた提案を今後検討し、事業化に向けて取り組んでいく計画です。</p>	

7. 設備投資の実績および計画

	金額 (検収ベース)	償却額	主な案件
2009年3月期実績	3,117百万円	1,412百万円	圧延スタンド増強(900M)、鉄鋼製品倉庫拡張(300M)
2010年3月期実績	5,524百万円	1,669百万円	製鋼建屋集じん増設(900M)、電気炉ダスト処理設備(700M)
2011年3月期計画(今期)	6,600百万円	2,385百万円	圧延加熱炉(1,900M)、圧延スタンド増設(1,500M)
2012年3月期計画	1,608百万円	2,563百万円	LF用変圧器(200M)、ピレットヤードクレーン更新(90M)、会計ソフト(70M)

8. 株主還元

(円)

(1) 配当の状況

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
2009年3月期	2,500	4,500	7,000
2010年3月期	3,000	4,500	7,500
2011年3月期 (予想)	3,000	4,000	7,000

※2010年3月期期末配当内訳：普通配当3,500円、記念配当1,000円

(2) 株主優待 お米券

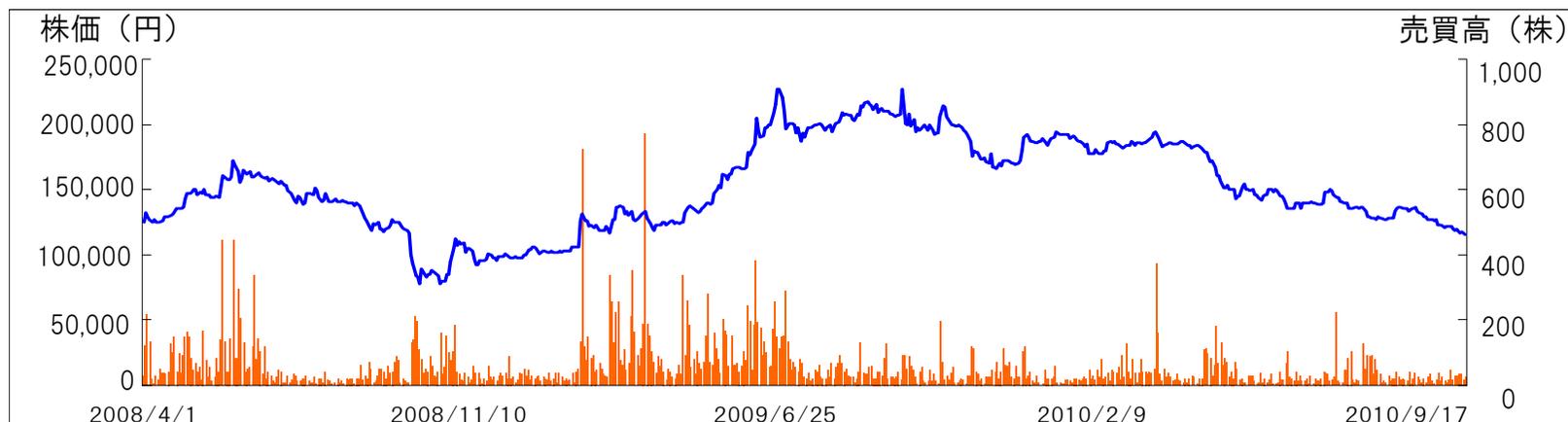
持株数	枚数(金額440円/枚)
1株	4枚(1,760円)
2株	8枚(3,520円)
3~4株	12枚(5,280円)
5株以上	16枚(7,040円)

対象は3月31日現在の株主様

9. 2011年3月期のIR活動

	実施回数	実施内容
機関投資家向けIR活動	3	決算説明会 ワンオンワンミーティング
個人投資家向けIR活動	8	東京3回、大宮1回、横浜1回、松山1回、 福岡1回、熊本1回
その他(IRイベントなど)		2010年3月期決算記者発表会 朝日工業グループフェア(9月)

10. 株価推移と出来高



本日はどうもありがとうございました。

本資料お取扱上のご注意

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。
- 本資料を作成するに当たっては、正確性を期すために慎重に行なっておりますが、完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。
- 本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。